

『感染性胃腸炎』 ～冬は特にご注意を～

年の瀬も近づき何かと忙しい時期になりました。この時期に流行る病気として今回は「感染性胃腸炎」についてお話しさせていただきます。



◎感染性胃腸炎とは？

感染性胃腸炎はおう吐、下痢を伴う感染症のことです。

大きく分けてノロウイルスなどウイルス感染と病原性大腸菌などの細菌感染がありますが症状では判断できません。



◎どのように感染するの？

どちらも吐いた物、便に病原菌がいて吐いた物の処理や排便の際に手につき菌が広がっていきます。

手についた菌が食事の時などに口から入るので感染の予防にはトイレの後や食事前に手洗いをするのが重要です。

◎治療の基本は水分補給と便をだすこと！

水分補給としっかり便を出すことが大切です。下痢、おう吐で脱水になってしまうので常温の水分を少量づつこまめに飲んでください。

飲んでも吐いてしまう場合は病院で吐き気止めの薬をもらい、それで駄目なら点滴をして状態によっては症状が落ち着くまで入院になります。

下痢は病原菌や毒素を体の外に出す効果があるので下痢止めはかえって症状を悪化させることがあり整腸剤をお勧めします。

細菌感染では抗生剤が効きますがノロウイルスなどウイルス感染は効く薬はなく症状を抑える薬を使って治るのを待ちます。

判断に困る、何か分からないことがあれば病院にご相談ください。



和みの医療センター 長野県立阿南病院

☎ 22-2121

内科部長 伊東一博医師